

## 評価指標 (KPI) の素案について

- 現在は、「取組方針」及び「重点的な取組」ごとにKPI（案）を整理しています。
- また、KPIは、既存の調査・計画で進捗が把握できるものとして、市の総合計画や環境基本計画など、関連計画と指標・目標を共有できる指標を主に設定しています。

## 【取組方針1】エネルギーをつくり、かしこく使うまちを目指します。

重点的な取組	取組指標	現状値	目標値	目標設定理由
再生可能エネルギーの最大利用	再エネ認定導入量 (設備容量)	29,258kW (2020年度)	57,300kW (2030年度)	再エネ導入目標より設定
エネルギー消費の削減	検討中	検討中	検討中	検討中

## 【取組方針2】ごみを減らし、資源としてうまく循環させるまちを目指します。

重点的な取組	取組指標	現状値	目標値	目標設定理由
プラスチックごみの削減・資源循環	廃プラスチック焼却処分量	1,743t (2020年度)	986t (2030年度)	国計画の廃プラ削減目標より設定
	プラスチックごみの再資源化率	61.7% (2018年度)	70.0% (2025年度)	環境基本計画と目標値を共有
ごみの削減・資源循環	1人1日あたりごみ排出量(家庭系)	602g/人・日 (2018年度)	530g/人・日 (2025年度)	環境基本計画と目標値を共有

注) 上位・関係計画と目標値を共有する指標は、上位・関係計画改定時に目標値を更新する。

## 【取組方針3】豊かな自然環境のもとで人と生きものが共生するまちを目指します。

重点的な取組	取組指標	現状値	目標値	目標設定理由
生きものの生息環境の保全	生物多様性保全による影響緩和(ふるさとの川再生事業箇所数)	年間2箇所 (2018年度)	年間3箇所 (2025年度)	環境基本計画と目標値を共有
	メタン排出抑制(中干期間延長等)の普及率	—	作付面積の30%以上 (2030年度)	国計画の普及率より設定
	化学肥料・農薬の低減技術を導入した水稻栽培面積(N <sub>2</sub> O抑制)	—	作付面積の50%以上 (2025年度)	環境基本計画と目標値を共有
	水稻の有機農業面積	13.3ha (2021年度)	21.7ha (2027年度)	有機農業実施計画と目標値を共有
野生生物の保護・管理	森林整備面積(間伐)	年間257ha (2018年度)	年間325ha (2025年度)	環境基本計画と目標値を共有

注) 上位・関係計画と目標値を共有する指標は、上位・関係計画改定時に目標値を更新する。

【取組方針4】災害による被害を軽減するまちを目指します。

重点的な取組	取組指標	現状値	目標値	目標設定理由
災害に備えたまちづくり	気候変動による災害増加への備え(防災マップ作成数)	165 自治会 (2020 年度)	261 自治会 (2025 年度)	総合計画前期基本計画と目標値を共有
	再エネ認定導入量(設備容量)	29,258kW (2020 年度)	57,300kW (2030 年度)	再エネ導入目標より設定
グリーンインフラの有効活用	生物多様性保全による影響緩和(ふるさとの川再生事業箇所数)	年間 2 箇所 (2018 年度)	年間 3 箇所 (2025 年度)	環境基本計画と目標値を共有
	森林整備面積(間伐)(再掲)	年間 257ha (2018 年度)	年間 325ha (2025 年度)	環境基本計画と目標値を共有

注) 上位・関係計画と目標値を共有する指標は、上位・関係計画改定時に目標値を更新する。

【取組方針5】みんなが気候変動を正しく理解し、積極的に行動するまちを目指します。

重点的な取組	取組指標	現状値	目標値	目標設定理由
気候変動対策に取り組む人の育成	検討中	検討中	検討中	検討中
気候変動対策に取り組む関係づくり	丹波篠山環境みらいパートナー事業者登録者数	56 事業者 (2023 年)	現在より参加事業者増加	—